

報 道 資 料

平成30年11月8日
安全・安心まちづくり推進課
(奈良県交通対策協議会事務局)
安全・安心まちづくり推進係
担当 北林、駒谷
ダイヤル 0742-27-8730
内線 3333

平成30年度 交通安全県民運動優秀活動団体表彰について

奈良県交通対策協議会（会長 奈良県知事 荒井正吾）では、平成30年度奈良県交通安全県民運動優秀活動団体を下記の4団体に決定し、会長表彰をいたします。

この表彰は、主に平成30年中の春・秋の交通安全県民運動において、優れた交通安全活動を積極的に推進し、交通安全意識の高揚と地域の交通事故防止に顕著な成果をあげ、他の模範と認められる団体を、県内各市町村（地区）交通対策協議会などからの推薦に基づき選考し、決定したものです。

今回受彰されました下記4団体は、今後も地域における交通安全活動推進のリーダー的存在としてご活躍が期待されます。

記

受 彰 団 体	所 在 地
郡山地域交通安全活動推進委員協議会	大和郡山市杉町250番地4 郡山警察署内
王寺町交通防犯対策協議会	北葛城郡王寺町王寺2丁目1番23号 王寺町役場内
下市陸上クラブ	吉野郡下市町大字善城278番地 代表方
奈良県立添上高等学校 自転車マナーアップ隊	天理市櫛本町1532番地2

活動概要については、別添のとおりです。

※ 表彰状は、それぞれ推薦をいただいた関係市町村（地区）交通対策協議会長、警察署長等において授与の予定です。

平成30年度 交通安全県民運動優秀活動団体の活動概要

	表彰を受ける団体・代表者	活 動 の 概 要
1	郡山地域交通安全活動推進委員協議会 会長 中津 甚之丞	郡山地域交通安全活動推進委員協議会は、 ・適正な交通の方法及び交通事故防止 ・高齢者等の通行の安全を確保するための方法 ・車両の駐車及び道路の使用方法 ・自転車の通行方法 等について、住民の理解を深めるための運動を推進している団体であり、毎年春及び秋の交通安全県民運動期間中には、高齢者等に対する交通安全活動や自転車利用者に対する安全教育活動、広報啓発活動を積極的に推進している。 また、交通安全県民運動期間以外においても、同団体が主体的に該当啓発活動を行うなど、交通安全活動を積極的に推進し、他の模範と認められるものである。
2	王寺町交通防犯対策協議会 会長 平井 康之	王寺町交通防犯対策協議会は、奈良県交通安全協会西和支部協会王寺町分会及び王寺町交通安全母の会と協力し、積極的に町民の交通安全意識の高揚に尽力している。 特に、今年の交通安全県民運動では2018年の干支「戌（犬）」にちなみ、町マスコットである聖徳太子の愛犬「雪丸」を活用し、奈良県交通安全協会王寺町分会と連携して手作りの雪丸イラスト入り交通安全立て看板を製作・設置、王寺町交通安全母の会と連携して町立中学校の生徒及び県立王寺工業高等学校の生徒の製作による「とび出し坊や」ならぬ「とび出しワンワン」の企画・設置を展開した。 また、雪丸の着ぐるみや雪丸グッズを活用した啓発活動を展開し、車用のステッカーを配布し、小さな子どもがいる保護者に対し、チャイルドシートの着用の徹底を呼びかけ、積極的に情報発信を行い、新聞記事に取り上げられるなど、町独自の交通安全啓蒙活動に取り組んだ。 年間13回に及ぶ春・秋の交通安全教室開催、運動期間中の青色パトロール車による交通安全巡回指導、奈良県安全・安心まちづくり推進課との自転車安全利用及び保険加入啓発活動と合わせて夜道で光るピカピカグッズの配布を展開するなど、交通安全関連機関とも連携しながら交通事故防止に大いに貢献していることから、同団体の活動は、他の模範となるものである。
3	下市陸上クラブ 代表 北 延博	下市陸上クラブは、代表が個人的に主宰する陸上クラブであり、現在近隣市町村在住の小学1年生から中学2年生までの12人が所属している。 同団体は、ほぼ毎日熱心にランニングを中心とした練習に取り組んでいるほか、平成22年から交通安全等の啓発活動のボランティアに取り組んでいる。 同団体のメンバーは「吉野警察署啓発ランナー」として、交通安全啓発はもとより、犯罪被害防止、災害被害防止、山岳遭難防止等、住民が命と身体を守るための啓発活動に積極的かつ熱心に取り組んでいる。 地元下市町の下市観光文化センターで交通安全県民運動期間中に開催している「吉野路交通安全フェスティバル」では、平成29年春・秋から平成30年春・秋と連続4回にわたって、参加者に対する交通事故防止の啓発活動を実施した。 また、本年4月30日に川上町の山間道路で実施した「SKY EYES作戦」（県警ヘリ・白パイを交えた空陸一体の交通事故抑止活動）でも啓発活動を行った。 さらに毎年10月に実施される「全国地域安全運動」期間中には、防犯パレード等での啓発活動を行っている。 このように、交通安全県民運動期間中を中心としたボランティア活動の取り組みは、他の団体の模範であり、大いに賞賛に値するもので、交通安全の推進のための多大の功績があると認められるものである。
4	奈良県立添上高等学校 自転車マナーアップ隊 校長 木村 孝之	奈良県立添上高等学校は、平成29年9月11日に「自転車マナーアップモデル校」に指定されており、同校自転車マナーアップ隊は、毎週金曜日に正門前において、自転車の安全利用及び交通事故防止の啓発を兼ねた挨拶運動に取り組んでいる。 また、交通安全県民運動期間中には、同校生徒がデザインしたポケットティッシュを作成し、学校周辺道路において、天理交通対策協議会及び奈良県交通安全協会天理支部と合同による交通安全啓発活動を実施し、付近住民及び通過車両等に対し交通安全意識の普及を積極的に推進した。 以上のことから、交通安全活動に取り組んでいる同団体は、他の模範となるものである。